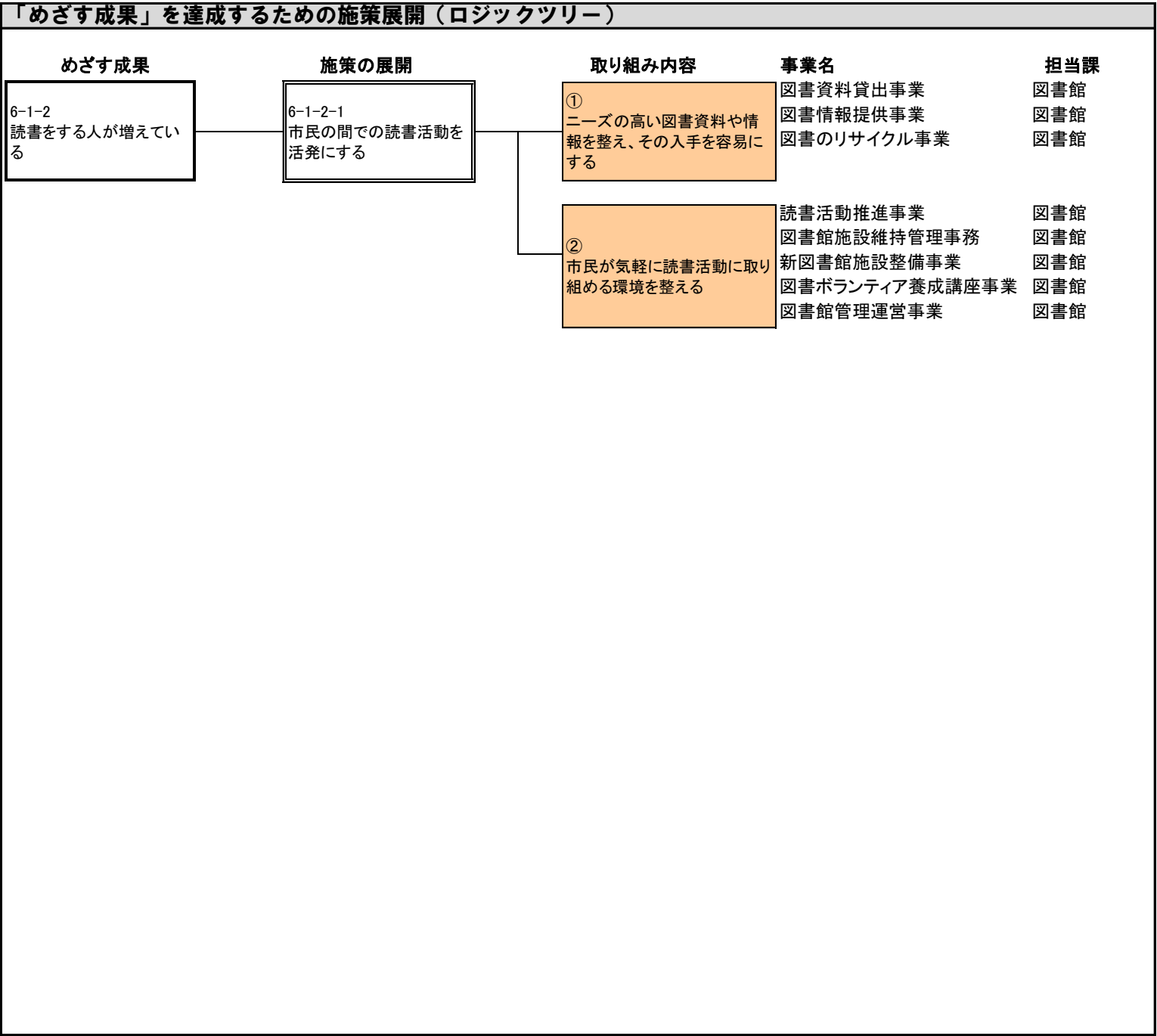


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6－1－2 読書をする人が増えている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	読書をする人が増えている
		読書活動の環境が整い、読書をする人が増えています。



主 な 成 果 を 計 る 指 標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 市民1人あたりの年 間図書貸出冊数	3.90冊	4.00冊	4.55冊	4.57冊	5.15冊	5.87冊
	② 図書館や保育所などでの おはなし会の延べ参加者数			2,119人	1,994人	2,340人	2,580人

所 管 部	文化スポーツ部
平成26年度の 取り組み内容	【市民の間での読書活動を活発にする】 ・利用者の読書・調査・研究ニーズに対応するため、様々な手段で図書資料等を収集・保存し、偏りのない充実した蔵書構成としました。 ・利用者の利便性向上のため、図書の有料宅配サービスを開始しました。 ・家庭での読書（家読）を推進するにあたり、夏休みに図書館においてスタンプラリーを実施し、約2,600人が参加しました。また、「ビブリオバトル入門講座」等の新しい講座を開催し新たな利用者層の発掘に努めました。 ・各世代にわたって読書習慣を形成する機会を提供するため、どこでも読書力向上プランに基づき、おはなし会やブックスタートなどを実施しました。 ・読み聞かせやストーリーテリング等、読書活動を推進するためのボランティアの育成に努めました。 ・文化創造拠点への図書館移転を視野に、指定管理者の選定や保留床の取得を行ったほか、新図書館用図書を購入しました。
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・貸出冊数やリクエスト件数の増加、多様化するレファレンス業務に対応するため、蔵書をさらに充実させるとともに、専門的なニーズに対応できる人材の確保を進める必要があります。 ・家読をさらに推進するため、定期的にブックリストを更新するなど情報発信に努めるとともに、学校等との連携を進める必要があります。 ・市民の多様なニーズに応えるため、情報収集に努め、講座の内容等を工夫します。また、ボランティア講座受講後、実際に活動できる環境を整える必要があります。 ・文化創造拠点への図書館移転に際しては、より快適な読書環境の実現に向け、機能充実を図る必要があります。また、新図書館の蔵書構成や新たなサービス等について検討を重ねます。
今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	新図書館への移転に向けた業務を行います。 (該当する事務事業) 新図書館施設整備事業及び図書館施設運営事業
既存事業の拡充	 (該当する事務事業)
事業の廃止・縮減	 (該当する事務事業)
事業の効率化	 (該当する事務事業)
その他見直し	 (該当する事務事業)